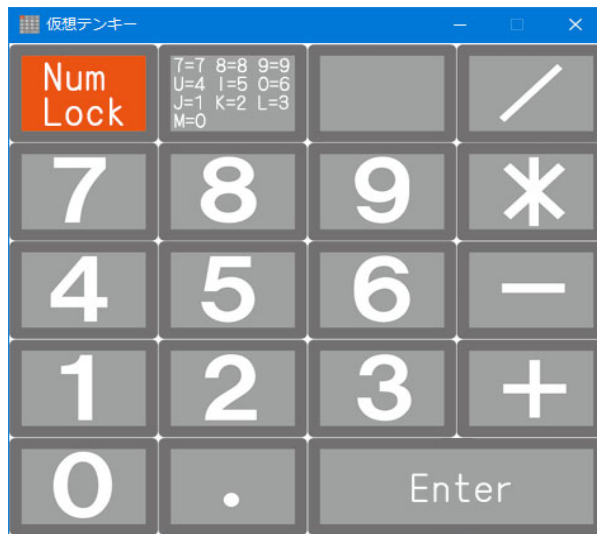


## 仮想テンキー取り扱い説明書

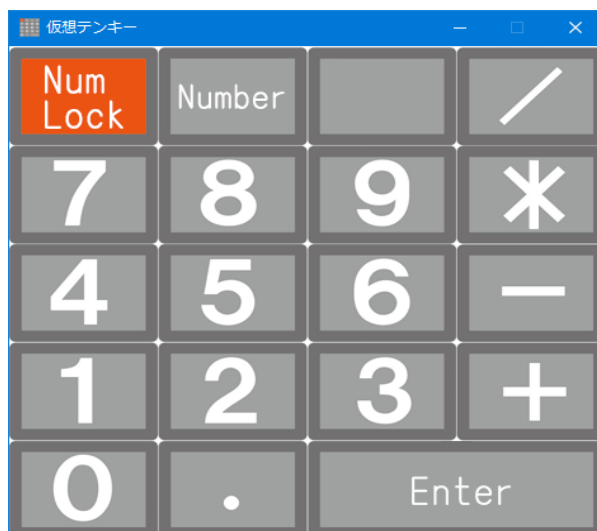
1. 初期画面は、下図の様になります



- 1) NumLockが赤の時、NumLockキーがOnの状態です。
- 2) M=0 ……9=9は、赤線の中のキーが入力できることを示しています。



- 3) M=0 ……9=9をクリックすると、下図のように表示が変わります。  
もう一度クリックすると、M=0 ……9=9の表示に戻ります。



4) Numberは、赤線の中のキーが入力できることを示しています。



2. NumLockキーをクリックすると画面は、下図の様に変わります。

これはNumLockがオフを示しています。

NumLockキーをもう一度クリックすると、赤に変わります。

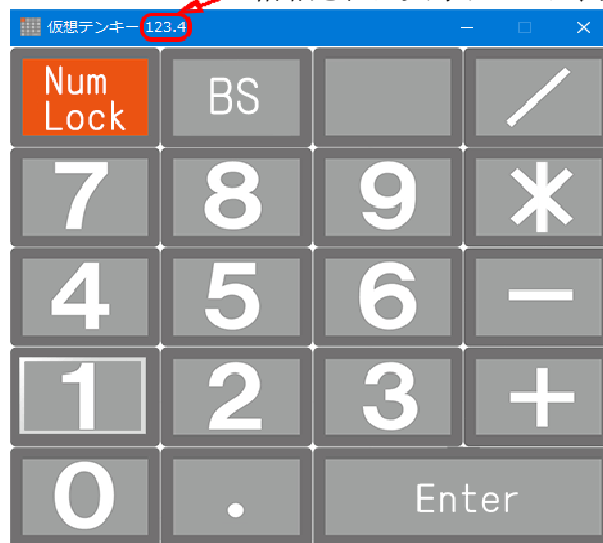


NumLockオフの時に入力出来るキー



3. 画面のボタンをクリックすると、文字が内部バッファに格納されます。  
格納できる文字数は、64文字までです。

格納された文字はここに表示されます。



ボタンクリック時の表示  
(NumLockオフ時)

Home= H

↑ = ↑

Pg Up= U

← = ←

→ = →

End= E

↓ = ↓

Pg Dn= D

Ins= I

Del= 削

Enter= 改

BSボタンをクリックすると、最後の文字が削除されます。  
文字列を送りたいアプリケーションをアクティブ(フォーカスを当てる)にすると、文字列がそのアプリケーションに送信されます。

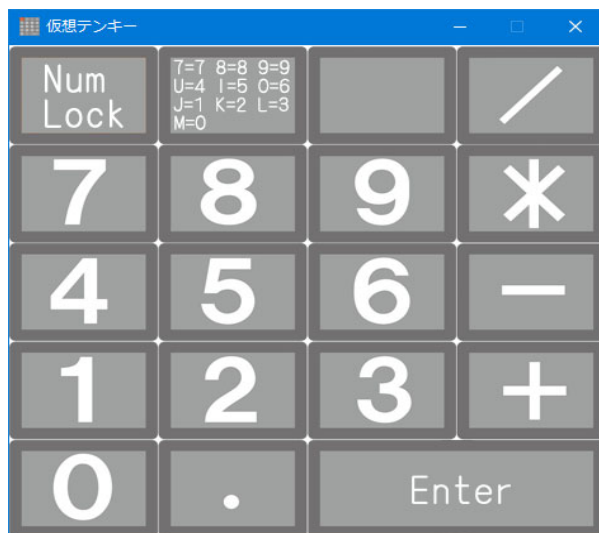
4. 左上のアイコンをクリックすると、ドロップダウンメニューが表示されます。  
「バージョン情報」をクリックすると、現在のバージョン情報が表示されます。



5. 仮想テンキーを一時的に停止するときは、「Pause」又は「PrintScreen」キーを押します。一時的に動作が止まります。NumLockボタンの色がグレーになります。

再開するときは、もう一度「Pause」又は「PrintScreen」キーを押します。

Pauseキーで仮想テンキーが無効になったときの表示。



6. 表示等の動作が異常になったら、解凍したフォルダー内の「TenKey.ini」ファイルを削除してください。再度起動したとき初期値に戻ります。

7. F1キーを押すと、この説明書が表示されます。